

## 安全データシート

### 項目1. 特定

製品識別子 : WB22  
化学品の名称 : WB22 クロマックスプロピュア ブルー  
化学物質を特定する他の方法 : 1250013620; 1250092619

発行日 : 2022年12月1日  
バージョン : 10

#### 推奨用途及び使用上の制限

推奨用途 : 業務用塗料成分。  
使用上の制限 : 業界のトレーニング受講済みプロフェッショナル専用。非売品および一般の利用禁止。

供給者の会社名称、住所及び電話番号 : アクサルタ コーティング システムズ合同会社  
東京都港区虎ノ門一丁目2番8号 虎ノ門琴平タワー4F  
Japan

製品情報 : +81 (0)3-6891-0230

緊急連絡電話番号 : +81 (0)3-3519-3182

### 2. 危険有害性の要約

GHS 分類 : 区分に該当しない。

#### GHS ラベル要素

絵表示又はシンボル : 該当しない  
注意喚起語 : 注意喚起語なし。  
危険有害性情報 : 重大な作用や危険有害性は知られていない。  
注意書き  
安全対策 : 該当しない  
応急措置 : 該当しない  
保管 : 該当しない  
廃棄 : 該当しない

その他の危険有害性 : 認知済みのものは無し。

### 3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区分 : 混合物

化学名又は一般名	含有量(%)	CAS登録番号	官報公示整理番号	
			化審法	労働安全衛生法
テトラクロロ銅フタロシアニン	≤10	27614-71-7	5-4145	情報なし。
ジプロピレングリコールモノメチルエーテル	≤5.0	34590-94-8	2-426; 7-97	(2)-426; (7)-97
N,N-ジメチルエタノールアミン	≤1.0	108-01-0	2-297; 2-353	(2)-297
2, 4, 7, 9-テトラメチル-5-デシン-4, 7-ジオール	≤0.30	126-86-3	2-263	(2)-263
アクリル酸-2-ヒドロキシエチル	≤0.01	818-61-1	2-995	情報なし。

### 3. 組成及び成分情報

供給者の現在有する知識範囲と該当する濃度において、健康または環境に対して危険有害性があると分類されるために、このセクションで報告が義務づけられている追加成分は含まれておりません。

職業曝露限界値の設定がある場合は、第8章に記載。

### 4. 応急措置

- 吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。症状が現れたら、医師の診断を受ける。火災による分解生成物を吸入した場合、症状は遅れて発生することがある。暴露された人を48時間医師の観察下に置く必要がある。
- 皮膚に付着した場合 : 多量の水で、汚染された皮膚を洗浄する。汚染された衣服および靴を脱がせる。症状が現れたら、医師の診断を受ける。
- 眼に入った場合 : すぐに多量の水で、時々上下のまぶたを持ち上げながら眼をすすぐ。コンタクトレンズの有無を確認し、着用している場合にははずす。炎症が生じた場合、医師の診察を受ける。
- 飲み込んだ場合 : 水で口を洗浄する。物質を飲み込んだ場合、被災者の意識があれば少量の水を飲ませる。医師の指示がない限り、吐かせてはならない。症状が現れたら、医師の診断を受ける。
- 応急処置をする者の保護 : 人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。
- 医師に対する特別な注意事項 : 火災による分解生成物を吸入した場合、症状は遅れて発生することがある。暴露された人を48時間医師の観察下に置く必要がある。

### 5. 火災時の措置

- 適切な消火剤 : 火災に応じた消火剤を使用する。
- 使ってはならない消火剤 : 認知済みのものは無し。
- 特有の危険有害性 : 火災の際や加熱された場合、圧力の上昇が起こり容器が破裂することがある。
- 特有の消火方法 : 火災が発生したら、すみやかに火災現場から人員を退避させ現場を隔離する。人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。
- 消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置 : 消火を行う者は適切な保護器具と、陽圧モードで動作するフルフェース部分を備えた自給式の呼吸器具を装着しなければならない。

### 6. 漏出時の措置

#### 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

- 非緊急時対応要員について : 人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。周辺地域の人々を避難させる。関係者以外ならびに保護用具を着用していない作業員の入室を禁じる。漏出した物質に触れたり、その上を歩いたりしてはならない。適切な個人保護装置を着用する。
- 緊急時対応要員について : 流出分の取り扱いに専用衣類が必要な場合には、適切および不適切な物質に関するセクション8に記載の情報に注意しなければならない。「緊急時要員以外の人員用」の情報も参照。
- 環境に対する注意事項 : 漏出した物質や流去水の拡散、および土壌、水路、排水溝下水道との接触を回避する。製品が環境汚染(排水、水路、土壌または大気)を起したときは、関係する行政当局に報告する。

#### 封じ込め及び浄化の方法及び機材

- 少量に流出した場合 : 危険性がなければ、漏れを止める。漏出区域から容器を移動する。水溶性なら水で希釈してぬぐい取る。あるいは、または水に不溶性の場合、乾燥した不活性吸収剤に吸着させ、適切な廃棄物処理容器に入れる。許可を受けた廃棄物処理業者に依頼して処分する。
- 大量に流出した場合 : 危険性がなければ、漏れを止める。漏出区域から容器を移動する。下水溝、水路、地下室または密閉された場所への侵入を防止する。漏出物を廃水処理施設に洗い流すか、または以下の指示に従う。本製品がこぼれたら、砂、土、パーミキュライト、珪藻土等の非可燃性の吸収剤でこぼれを封じ込めた後、容器に集め、現地法に基づき廃棄する(セクション13を参照)。許可を受けた廃棄物処理業者に依頼して処分する。注意: 緊急時連絡情報については第1章を、廃棄処理については第13章を参照すること。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

### 取扱い

- 安全取扱注意事項** : 適切な個人保護具を使用すること(セクション8を参照)。
- 衛生対策** : 本物質の取扱い、保管、作業を行う場所での飲食および喫煙は厳禁。作業者は飲食、喫煙の前に手を洗うこと。飲食区域に入る前に汚染した衣類と保護具を脱ぐこと。同様にセクション8の衛生措置に関する追加情報も参照。

### 保管

- 安全な保管条件** : 以下の温度範囲で保管する: 5 から 35°C (41 から 95°F)。現地の法規制に従って保管する。元の容器に入れ、換気の良い乾燥した冷所で直射日光を避け、混合禁止物質(セクション10を参照)および飲食物から離して保管する。使用直前まで、容器は固く閉め封印して保管する。いったん開けた容器は入念に再密閉し、漏出を防ぐため直立させて保管する。ラベルのない容器に保管してはならない。環境汚染を避けるために適切な容器を使用する。非相溶性材料については取扱いまたは使用前にセクション10を参照のこと。

## 8. ばく露防止及び保護措置

- 設備対策** : 全体換気装置は作業者がばく露される空中浮遊物質濃度の管理に十分なものを使用する。

### ばく露限界

なし。

### 保護具

- 呼吸用保護具** : 危険性とばく露の可能性に基づき、適切な基準または認証を満たすマスクを選択すること。マスクは、呼吸保護プログラムに従って使用し、適切な付け心地、トレーニング、および使用上のその他の側面を確実にすること。
- 手の保護具** : リスク評価によって必要とされるときは、化学製品の取り扱いの際、承認された基準に合格した耐化学品性で不浸透性の手袋を常に着用する。
- 眼、顔面の保護具** : リスク評価によって必要とされるときは、液体の飛まつ、ミスト、ガスあるいは塵埃への暴露をさけるため、承認された基準に合格した安全眼鏡を着用する。接触の可能性がある場合、評価によってより高次の保護が指摘されている場合を除いて次の保護具を着用しなければならない: 側方シールド付の保護眼鏡。
- 皮膚及び身体の保護具** : 作業者の身体保護衣は、行う作業の内容および関連するリスクに基づいて選択しなければならない。さらにこの製品を取り扱う前に専門家の承認を受けなければならない。この製品を取り扱う前に、行う作業とそれに付随するリスクに基づき適切な履物および何らかの追加的な皮膚保護具を選択し、専門家の認可を受けなければならない。

## 9. 物理的及び化学的性質

### 外観

**物理状態** : 液体

**色** : 青。

**臭い** : 情報なし。

**臭いのしきい値** : 情報なし。

**pH** : 8.2 から 8.8

**融点/凝固点** : 該当しない

**沸点** : 100 から 100.1°C (212 から 212.2°F)

**引火点** : 密閉式: 101°C (213.8°F) [製品は燃焼が持続しない。]

**燃焼点** : 情報なし。

**蒸発速度** : 情報なし。

**可燃性(固体、気体)** : 情報なし。

**燃焼又は爆発範囲の上限・下限** : 情報なし。

**蒸気圧** : 2.6 kPa (19.7 mm Hg)

## 9. 物理的及び化学的性質

蒸気密度 : 情報なし。  
 密度 : 1.037 g/cm<sup>3</sup>  
 溶解度 :

メディア	結果
冷水	可溶性

n-オクタノール／水分配係数 : 該当しない

自然発火点 : 207°C (404.6°F)  
 分解温度 : 該当しない  
 粘度 : 情報なし。  
 流出時間 (ISO 2431) : 情報なし。

## 10. 安定性及び反応性

反応性 : この製品またはその成分に関しては、反応性に関する利用可能な具体的試験データはない。  
 化学的安定性 : 製品は安定である。  
 危険有害反応可能性 : 通常の貯蔵および使用条件下では、有害な反応は起こらない。

避けるべき条件 : 特にデータは無い。  
 混触危険物質 : 特にデータは無い。  
 危険有害な分解生成物 : 通常の保管及び使用条件下では、危険な分解生成物は生成されない。

## 11. 有害性情報

### 急性毒性

製品 / 成分の名称	結果	種類	投与量	ばく露時間
ジブロピレングリコールモノメチルエーテル	LD50 経皮	ウサギ	9510 mg/kg	-
N,N-ジメチルエタノールアミン	LC50 吸入した場合 ガス	ラット	1641 ppm	4 時間
	LD50 経口	ラット	2 g/kg	-
アクリル酸-2-ヒドロキシエチル	LD50 経皮	ラット	1001 mg/kg	-
	LD50 経口	ラット	548 mg/kg	-

### 急性毒性の推定

情報なし。

### 刺激性/腐食性

製品 / 成分の名称	結果	種類	スコア	ばく露時間	観察
N,N-ジメチルエタノールアミン	眼 - 結膜浮腫	ウサギ	3	-	-
	眼 - 強度の刺激	ウサギ	-	5 uL	-
	皮膚 - 軽度の刺激	ウサギ	-	445 mg	-
2, 4, 7, 9-テトラメチル-5-デシン-4, 7-ジオール	眼 - 強度の刺激	ウサギ	-	0.1 MI	-
	眼 - 目に見えて明白な壊死状態	ウサギ	-	1 分	21 日
アクリル酸-2-ヒドロキシエチル	皮膚 - 軽度の刺激	ウサギ	-	0.5 g	-
	皮膚 - 軽度の刺激	ウサギ	-	24 時間 10 mg	-
	皮膚 - 中程度の刺激	ウサギ	-	500 mg	-

### 呼吸器感作/皮膚感作

## 11. 有害性情報

製品 / 成分の名称	暴露経路	種類	結果
2, 4, 7, 9-テトラメチル-5-デシン-4, 7-ジオール	皮膚	マウス	感作性

### 生殖細胞変異原性

情報なし。

### 発がん性

情報なし。

### 生殖毒性

情報なし。

### 特定標的臓器毒性、単回ばく露

製品 / 成分の名称	カテゴリ	暴露経路	標的臓器
ジプロピレングリコールモノメチルエーテル	区分3	-	気道刺激性 麻酔作用
アクリル酸-2-ヒドロキシエチル	区分3 区分3 区分3	-	気道刺激性 麻酔作用

### 特定標的臓器毒性、反復ばく露

製品 / 成分の名称	カテゴリ	暴露経路	標的臓器
N,N-ジメチルエタノールアミン	区分2	-	呼吸器
アクリル酸-2-ヒドロキシエチル	区分1	-	-

### 誤えん有害性

情報なし。

## 12. 環境影響情報

### 毒性

製品 / 成分の名称	結果	種類	ばく露時間
N,N-ジメチルエタノールアミン	急性 EC50 98.37 mg/l 急性 LC50 146.63 mg/l 真水	ミジンコ類 魚類 藻類	48 時間 96 時間 72 時間
2, 4, 7, 9-テトラメチル-5-デシン-4, 7-ジオール	急性 EC50 15 mg/l		
アクリル酸-2-ヒドロキシエチル	急性 EC50 91 mg/l 急性 LC50 42 mg/l 急性 NOEC 1.8 mg/l 急性 LC50 4800 µg/l 真水	ミジンコ類 魚類 藻類 魚類 - Pimephales promelas - 幼若体(ひな鳥、孵化したての幼魚、離乳子畜)	48 時間 96 時間 72 時間 96 時間

### 残留性・分解性

製品 / 成分の名称	テスト	結果	投与量	植種源
N,N-ジメチルエタノールアミン	OECD 302C Inherent Biodegradability: Modified MITI Test (II)	60.5 含有量(%) - 容易 - 28 日	-	-
アクリル酸-2-ヒドロキシエチル	EU	78 含有量(%) - 容易 - 28 日	-	-
製品 / 成分の名称	水中における半減期	光分解	生分解性	
N,N-ジメチルエタノールアミン	-	-	容易	
アクリル酸-2-ヒドロキシエチル	-	-	容易	

## 12. 環境影響情報

### 生体蓄積性

製品 / 成分の名称	LogP <sub>ow</sub>	BCF	可能性
ジプロピレングリコールモノメチルエーテル	0.004	-	低
N,N-ジメチルエタノールアミン	-0.55	-	低
アクリル酸-2-ヒドロキシエチル	-0.17	-	低

### 土壌中の移動性

土壌/水分配係数(K<sub>oc</sub>) : 情報なし。  
移動性 : 情報なし。

オゾン層への有害性 : 該当しない  
他の有害影響 : 重大な作用や危険有害性は知られていない。

## 13. 廃棄上の注意

**廃棄方法** : 廃棄物の発生は避けるか、あるいは可能な限り少なくする必要がある。この製品、製品の溶液およびあらゆる副生成物の処分は、常に環境保護および廃棄物処理に関する法律の定める要求事項、および現地法の定める要求事項に従わなければならない。余剰またはリサイクルできない製品は許可を受けた廃棄物処理業者に依頼して処理する。管轄当局の要件に完全に準拠しない限り、廃棄物を無処理で下水道に流してはならない。不要な包装材料は再利用しなければならない。焼却または埋め立ては、再利用が不可能な場合にのみ検討すべきである。この材料およびその容器は安全な方法で廃棄しなければならない。空の容器や中袋に製品が残留している可能性がある。漏出した物質や流去水の拡散、および土壌、水路、排水溝下水道との接触を回避する。

## 14. 輸送上の注意

	IMDG	IATA
UN番号	規定なし。	規定なし。
品名	-	-
国連分類 クラス	-	-
容器等級	-	-
環境有害性	該当せず。	該当せず。

**使用者のための特別な予防措置** : 使用者の施設内での輸送: 直立型の安定した容器に入れて輸送する。本製品の輸送者が事故や漏出の際の対処法を理解していることを確認する。

### 船舶安全法

#### 船舶による危険物の運送基準等を定める告示

非該当

#### 容器等級

非該当

## 14. 輸送上の注意

### 消防法

カテゴリ	物質名／種類
指定可燃物	可燃性液体類

消防活動阻害物質 : 非該当

高圧ガス保安法 : 情報なし。

海洋汚染防止法 : 情報なし。

道路法 : 情報なし。

IMO機器によるばら積み運搬 : 情報なし。

本製品の実際の船積み明細は、材料の容積、コンテナの寸法、輸送手段、および適用される規制で規定される免除または例外の使用を含む(ただしこれらに限定されない)、複数の要因に基づき変動する場合があります。セクション14に規定される内容も、本製品の船積み明細に含まれる可能性があります。当該の業務の詳細については、貴社の船積みの担当者またはサプライヤーにお問い合わせください。

## 15. 適用法令

### 消防法

カテゴリ	物質名／種類	危険性区分	注意喚起語	指定数量
指定可燃物	可燃性液体類	非該当	非該当	2 m <sup>3</sup>

### 労働安全衛生法

特別有機溶剤等 : 該当しない

### 名称等を表示すべき危険物及び有害物

化学名又は一般名	状況	整理番号
銅及びその化合物	該当	379
1-(2-メトキシ-2-メチルエトキシ)-2-プロパノール	該当	601

### 名称等を通知すべき危険物及び有害物

化学名又は一般名	状況	整理番号
銅及びその化合物	該当	379
1-(2-メトキシ-2-メチルエトキシ)-2-プロパノール	該当	601

### 化学物質審査規制法

化学名又は一般名	状況	整理番号
プロパン-1, 2-ジオール	優先評価化学物質	106
スチレン	優先評価化学物質	47
メタクリル酸	優先評価化学物質	35

### 毒物及び劇物取締法

非該当

### 特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律 (PRTR) - 2023年3月まで

非該当

## 15. 適用法令

### 化学物質排出把握管理促進法 - 2023年4月から

非該当

日本産業衛生学会 発がん性物質 : 非該当

海洋汚染防止法 : 情報なし。

道路法 : 情報なし。

特別管理産業廃棄物 : 非該当

## 16. その他の情報

### 履歴

発行日 : 2022年12月1日

バージョン : 10

作成者 : 製品スチュワードシップと規制コンプライアンス。

次の規格に基づき作成 : JIS Z 7253:2019; JIS Z 7252:2019

### 略語の解説

ATE = 急性毒性推定値  
BCF = 生物濃縮係数  
GHS = 化学品の分類および表示に関する世界調和システム  
IATA = 国際航空輸送協会  
IBC = 中型運搬容器  
IMDG = 国際海上危険物  
LogPow = オクタノール/水の分配係数の対数  
MARPOL = 海洋汚染防止条約、1973年の船舶による汚染の防止のための国際条約に関する1978年の議定書。 ("Marpol" = 海洋汚染)  
N/A = データなし  
UN= 国際連合

前バージョンから変更された情報を指摘する。

### 注意事項

本製品は、工業用途のみを意図したものです。

安全データシート(SDS)の内容は、発行日時時点で正確であると認識されていますが、アクサルタ コーティング システムズまたは同社の子会社、系列会社(アクサルタ)が、新しい情報を入手し次第、変更される場合があります。本SDSは、サプライヤーからアクサルタに提供された情報が含まれている場合があります。使用の際には、必ず最新版のSDSをご参照ください。使用者は、責任をもって、本SDSに記載される安全上の注意に従ってください。本製品の安全な取扱い、使用、処分に適用されるすべての法律と規制を遵守するのは、ユーザーの責任です。

アクサルタ製品のユーザーは、使用前に製品に関連したすべての情報をお読みになり、製品が意図した用途に適したものであるかどうかを自らご判断いただく必要があります。適用法により別の内容が要求される場合を除き、アクサルタは、商品性または特定の目的への適合性に関する暗黙的な保証を含め(ただしこれに限定されない)、明示的または暗黙的に一切の保証をしません。このSDSに関する情報は、セクション1「識別情報」に記載される特定の製品にのみ関連し、他の材料との組合せ、または特定のプロセスで想定される使用との関連性はありません。本製品が他の製品と組み合わせて使用される場合、使用前にすべての製品のSDSをお読みになり、内容を理解することをお勧めします。

© 2022 Axalta Coating Systems, LLC and all affiliates.無断複写・転載を禁ず。アクサルタ コーティング システムズ製品の使用者にのみ、複製を許可します。